

株式会社 奥本研究所 会社プロフィール

| | |
|-------|---------------------|
| 設立 | 2014年4月 |
| 資本金 | 850万円 |
| スタッフ数 | 3名 |
| 業態 | 有機材料・デバイスの研究開発サービス業 |
| 経営理念 | 世の中に役立つ，世界初の研究開発に挑戦 |
| 経営方針 | 無借金・黒字経営 |
| 所在地 | けいはんなプラザ ラボ棟2階 |

詳細はホームページをご覧ください → <http://olab.co.jp>



代表取締役

代表取締役社長： 奥本健二

略歴

2003年 大阪大学 博士（工学）取得 化学

2003年～三洋電機、パナソニック 有機ELディスプレイ開発

2009年～チームリーダー（課長職）、 2010～参事

2014年 退職。 奥本研究所 設立

業績： 論文 24報、特許出願 80件

大阪大学楠本賞、日本化学会講演奨励賞 etc.

資格 危険物甲種、基本情報技術者、TOEIC 890点 etc.

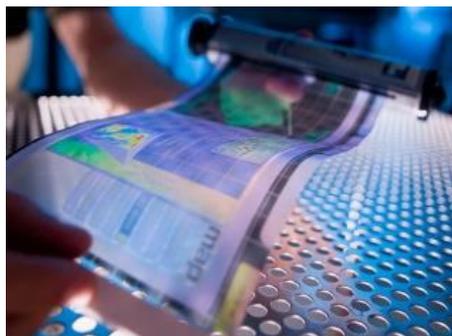


コア技術：有機半導体材料

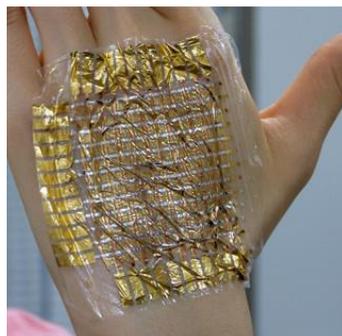
■ 有機半導体に関する材料・デバイス技術

- ① 長年の経験とスキルを保有
- ② 成長分野

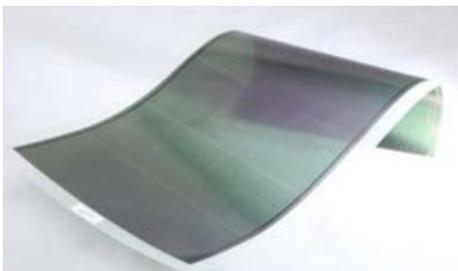
有機半導体デバイスの特徴： 柔軟で曲げられ、デザイン性と設置自由度に優れる。
低コスト・低エネルギーで作ることができる。



巻物型タブレット



医療用センサー



柔らかい太陽電池



車載用太陽電池

■ 有機エレクトロニクス製品市場

| | 2014年 | 2030年予測 | 2014年比 |
|----------|---------|-----------|--------|
| 全体市場 | 7,678億円 | 4兆2,484億円 | 5.5倍 |
| 有機ELデバイス | 7,676億円 | 4兆1,630億円 | 5.4倍 |

■ プリントドエレクトロニクス応用製品市場

| 2014年 | 2030年予測 | 2014年比 |
|-----------|-----------|--------|
| 2兆6,542億円 | 3兆8,921億円 | 146.6% |

■ 有機&プリントドエレクトロニクス関連材料の世界市場

| | 2014年 | 2030年予測 | 2014年比 |
|---------------|-------|---------|--------|
| 有機エレクトロニクス用部材 | 643億円 | 6,467億円 | 10.1倍 |
| 基板 | 159億円 | 2,611億円 | 16.4倍 |
| 導電・絶縁材料 | 250億円 | 955億円 | 3.8倍 |

富士キメラ総研の予測資料

収入形態と強み

☆収入形態：**技術売り**（自社開発と知財ビジネス）：**ハイリターン狙い**
材料売り（受託合成、試作）：**ベース事業**



☆強み：**材料・デバイスの長年の経験**：**研究と製品化経験**
最先端研究の実施体制：**自社設備と外部連携活用**
知財移管を前提とし技術情報を開示：**研究に特化**

☆顧客：**大学、大企業の研究所ほか**

株式会社 奥本研究所 会社概要

■ 有機材料の受託合成 実績200件以上

- ・ テスト用の非市販材料の合成
- ・ 低価格、広い対応幅



実験・合成設備完備

■ 有機材料の受託精製・分析

- ・ 昇華精製、クロマトグラフィーなど高純度精製
- ・ 純度分析、光学、電気化学分析など

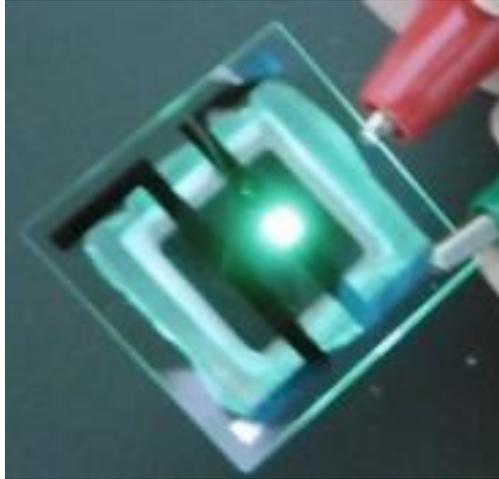


昇華精製装置

株式会社 奥本研究所 会社概要

■ 有機デバイスの受託試作・評価

- ・ 有機EL、有機太陽電池などのデバイス試作と評価



真空蒸着装置と
グローブボックス等
必要設備を保有

■ その他 受託研究開発業務

- ・ 技術調査、知財アイデア出し、技術コンサル etc.

弊社の課題、ご協力要望事項

| 課題 | 目的 | 内容 |
|---------|---------|---|
| 土地建物の取得 | ・ 経営安定化 | ・ 精華町近辺 ・ 住宅程度のサイズ感（床面積150m ² ） ・ 準工業地域（試薬使用） ベンチャービレッジ |
| 顧客紹介 | ・ 売り上げ | ・ 有機材料の研究開発 |
| 人材紹介 | ・ 長期持続性 | ・ 技術職 ・ 事務職 |

おまけ) 会社マスコット犬 ふくちゃん (ビーグル)

- **You Tube** 「おてんばビーグル」で検索!
チャンネル登録よろしくお願いたします。

お待ちしてますワン

